

The page features a decorative design with three blue circles of varying sizes, each composed of concentric circles in different shades of blue. Two thin blue lines intersect at the top left, forming a large 'V' shape that frames the circles. The largest circle is at the top right, a medium one in the center, and a large one at the bottom right.

新島学園短期大学 コメンテーターズ 一覧

取材等でコメンテーターをお捜しの場合に参考資料としてご活用ください。

2017 年度

コメンテーターズ・ガイド 目次

キャリアデザイン学科

職名	氏名	キーワード	掲載頁
学長・教授	岩田 雅明	大学経営、2018年問題、大学淘汰、大学倒産、大学の広報活動、大学の選び方、他	2
学科長・教授	小林 俊哉	アメリカ文学、アメリカ演劇、アメリカ文化、アメリカのマスメディア、他	3
教授	前田 浩	英語学、英文法、英語表現、英語音声	4
教授	駒田 純久	マーケティング、流通経営、ビジネス教育、キャリア教育	5
准教授	高山 有紀	年中行事、衣食住、奈良、法会、僧侶、他	6
准教授	堀田 学	少子高齢化、地方行政、地方政治、福祉行政、福祉国家	7
准教授	山下 智子	キリスト教、新島襄、新島八重、八重の桜、須田清基、上毛かるた、湯浅治郎、他	8-9
専任講師	大塚 敬義	病院情報システム、医療における情報処理、電子カルテ、医療用語辞書	10
専任講師	松田 慎一	開発経済、開発金融、マイクロファイナンス、金融論、経済理論	11
専任講師	R. A. Maher	アメリカ文学、英語イマージョン教育	12-13

コミュニティ子ども学科

職名	氏名	キーワード	掲載頁
学科長・教授	渡邊 哲也	多文化、異文化、キリスト教保育、心の教育 ECEC (Early Childhood Education and Care) 他	14
教授	福島 秀起	和太鼓	15
教授	渡邊 淳子	「語り」と文章表現としての「語り」、物語の「昔」、「をり」	16
准教授	櫻井 剛	表現、造形、図画工作、立体造形	17
准教授	澤田まゆみ	ドビュッシーの音響技法、山田耕筰、安部幸明のピアノ曲、キリスト教と音楽	18
准教授	成田小百合	子ども、母親、心理臨床、母子画、遊戯療法、トラウマ	19
准教授	八幡眞由美	保育、幼児教育、子育て環境、子育てバリアフリー、児童文化・児童文学	20-21
専任講師	小菅 ゆみ	保育士、児童自立支援施設、自立、寄り添う	22
専任講師	清水 洋生	認知発達、遊び、道徳性発達 (規範意識)、保育者養成	23

氏名 岩田 雅明 (イワタ マサアキ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 学長・教授

専門領域 高等教育 (大学経営、広報)

専門の概要 大学の経営戦略策定と、その展開についての考察を専門としています。戦略をつくり、それをきちんと展開するために必要な視点と、マネジメントについて取り扱っています。また、18歳人口の減少による定員割れの中、効果的に大学の良さを伝える広報戦略も専門としています。

備考

<著書>

- 「未来が輝く大学の選び方」2009年4月、エール出版
- 「実践的学校経営戦略」2009年8月、ぎょうせい
- 「高校生のキャリアデザインと新しい大学・短大の選び方」
2010年8月、ぎょうせい
- 「生き残りをかけた大学経営戦略」2013年1月、ぎょうせい
- 「大学の戦略的広報」2014年8月、ぎょうせい
- 「戦略的大学職員養成ハンドブック」2016年2月、ぎょうせい

<出演等>

- TBSラジオ「Gaku-Shock」高校生のキャリアデザインについて
2010年12月
- 群馬テレビ「ビジネスジャーナル」
2012年より、コメンテーター
- BS-TBS「NEWS21「就職率をアップせよ・・・大学の学生獲得作戦」
2013年2月

キーワード 大学経営、2018年問題、大学淘汰、大学倒産、大学の広報活動、大学の選び方、キャリア教育

氏名 小林 俊哉 (コバヤシ トシヤ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 教授

専門領域 アメリカ文学、アメリカ文化

専門の概要 アメリカ 20 世紀文学、とくにウィリアムズやオールビなどの演劇作家を専門としています。メディア大国としての米国にも関心を持ち、とくに近年ネット情報に対して苦戦を強いられている新聞に焦点を絞り、今後の再生や発展の可能性を探っています。

備考

< 著書 >

- (共著) 『『チャリング・クロス街 84 番地』における米口語選訳』
『ヘレーン・ハンフ論纂』(開文社) 1987 年 3 月
- (共著) 『*Marty*: テレビと映画』『パディ・チェイエフスキー論纂』
(開文社) 1989 年 3 月
- (共著) 『ローズ劇のドラマツルギー』『レジナルド・ローズ論纂』
(開文社) 1995 年 3 月
- (共著) 『日米新聞比較』『アメリカ的価値観の根幹—
『セールスマンの死』を手がかりとして』『地域研究入門--多文化理解の基礎』
(開文社) 1997 年 4 月
- (共著) 『文学とキャリアデザイン—アメリカ文学におけるキャリア観
『セールスマンの死』をめぐって』
『キャリアデザインの多元的探求』(現代図書) 2008 年 2 月

< 主な論文 >

- 『*Who's Afraid of Virginia Woolf?* と『架空の息子』の役割』『弘前学院大
学・短期大学紀要』第 22 号 1986 年 3 月
- 『*An Almanac of Liberty*: その思想性と娯楽性』『放送芸術学』第 5 号
1989 年 12 月
- 『アメリカにおける新聞の現状と今後 (その 1)』
『新島学園短期大学紀要』第 27 号 2007 年 3 月
- 『アメリカにおける新聞の現状と今後 (その 2)』
『新島学園短期大学紀要』第 29 号 2009 年 3 月
- 『アメリカにおけるメディアリテラシー (1) ...1990 年代前半まで』『新
島学園短期大学紀要』第 31 号 2011 年 3 月
- 『アメリカにおけるメディアリテラシー (2) 1996 年から 2000 年まで』『新
島学園短期大学紀要』第 34 号 2014 年 3 月

キーワード アメリカ文学、アメリカ演劇、アメリカ文化、アメリカのマスメディア、
アメリカの新聞、メディアリテラシー

氏名 前田 浩 (マエダ ヒロシ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 教授

専門領域 英語学

専門の概要 「英語学」は英語では **English linguistics** と言います。文字通り「英語の言語学」を意味します。英語学とは、英語の科学的研究で、一見何の規則性のない英語の事例の中に潜む規則性を発見し、そこにどのような規則が働いているか仮説を立て、それを証明するという科学的手法を取る学問分野です。英文法、英語表現（特に、口語英語表現）、英語音声に関して興味深い話をすることを比較的得意としています。

備考

<著書>

- 「**Handsome** の女性に用いられる用法—アンケート調査とコーパスを用いて—」『比較文化学の地平を拓く』日本比較文化学会関東支部（編）、2014年3月30日、開文社出版
- 「曖昧語の曖昧性を取り除く—日英語の蓋然性を表す副詞を中心に—」『比較文化学論纂』芳賀馨（編）、1998年4月20日、開文社出版

<翻訳協力>

- 『小学館 オックスフォード 英語コロケーション辞典』八木克正（監）、2015年2月9日、小学館

<論文>

- 「映画『赤毛のアン』における呼びかけ語としてのフルネームの使用」『大塚フォーラム』第31号、2013年11月25日、大塚英語教育研究会
- 「大学生の英語音声習得の現状とその発音記号習得との関連性」『新島学園短期大学紀要』第33号、2013年3月31日、新島学園短期大学
- 「文法性と容認可能性」『英語表現研究』第18号、2001年6月1日、日本英語表現学会

<講演>

- 「文法は誤読を救う」、2015年6月14日、外国語学校エスパス

<所属学会>

- 日本英語学会 ●英語語法文法学会 ●日本英語表現学会
- 日本比較文化学会（幹事） ●大塚英語教育研究会（幹事）
- 映画英語教育学会 ●筑波英語教育学会

<資格>

- 実用英語技能検定1級 ●国際連合公用語英語検定試験 A 級
- 通訳案内業試験 ●日本語教育能力検定試験

キーワード 英語学、英文法、英語表現、英語音声

氏名 駒田 純久 (コマダ スミヒサ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 教授

専門領域 マーケティング、流通

専門の概要 企業のマーケティング活動、とくにメーカーの流通チャネル戦略や卸・小売業のマネジメントを専門としています。また、最近の関心は、これから必要とされる商業（ビジネス）教育にあります。

備考 <著書>
●論文「商業教育の変容と商人像」2009年、関西学院大学『商学論究』
●『1からの戦略論 第2版』（共著）2016年、碩学舎

キーワード マーケティング、流通経営、ビジネス教育、キャリア教育

氏名 高山 有紀 (タカヤマ ユキ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 准教授 学生部長

専門領域 日本教育史、日本中世史

専門の概要

中世奈良の寺院で毎年開催された法会（ほうえ）の内容、特に僧侶の養成・教育に関わる部分について、その変遷を研究してきました。教育には、今も昔も変わらない点があり、時代を下り他の時代の教育と比較してみると新しい発見があります。また、仏教と関わりの深い年中行事や、衣食住の習慣、思想を通じて、日本文化を論じることにも関心を持っています。

備考

(論文)

「中世南都の寺院法会と僧具 ―その宗教的・社会的役割に関する一考察―」日本比較文化学会関東支部編『比較文化学の地平を拓く』（開文社出版 2014年）所収

「中世の慈恩会」奈良女子大学古代学学術研究センター設立準備室編『儀礼にみる日本の仏教 ―東大寺・興福寺・薬師寺―』（法蔵館 2001年）所収

(項目執筆)

『年中行事大辞典』吉川弘文館 2010年

キーワード

年中行事、衣食住、奈良、法会、教育史

氏名 堀田 学 (ホッタ マナブ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 准教授

専門領域 政治学・行政学（地方自治、人口減少社会、福祉国家）

専門の概要 福祉国家について理論的な考察を中心に研究を行ってきました。また、福祉行政の主体が地方自治体であることから地方自治にも研究の視野を広げ、最近では人口減少社会に関心を持っています。

備考 <著書（共著）>
● 「少子高齢社会の福祉政策—地方分権とローカル・ガバナンス」山本啓編『ローカル・ガバメントとローカル・ガバナンス』2008年2月、法政大学出版社
● 「日本の少子化政策」岡沢憲英・小淵優子編『少子化政策の新しい挑戦—各国の取組みを通して』2010年4月、中央法規出版
● 「ローカル・ガバナンスと地方議会改革」片木淳・藤井浩司編『自治体経営入門』2012年5月、一藝社
● 「地域医療・介護政策—地域包括ケアシステムにおける自治体行政の役割」縣公一郎、藤井浩司編『ダイバーシティ時代の行政学』2016年10月、早稲田大学出版部

キーワード 少子高齢化、地方行政、地方政治、福祉行政、福祉国家

氏名 山下 智子 (ヤマシタ トモコ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 准教授・宗教主任・新島文化研究所所長・牧師 (日本基督教団正教師)
専門領域 キリスト教史(新島八重、新島襄、群馬のキリスト教、再洗礼派など)
キリスト教学 (キリスト教入門)

専門の概要 日本のプロテスタント・キリスト教の歴史を専門にしています。特に新島八重や新島襄、その周辺にいた湯浅治郎、柏木義円、須田清基 (上毛かるたの原案者) など群馬のクリスチャン、群馬のキリスト教についての研究をしています。新島八重に関しては2013年度NHK大河ドラマ『八重の桜』のキリスト教関連アドバイザーとして撮影に立ち合っていました。また、キリスト教学の分野では「キリスト教ははじめて」「よくわからない」という方を対象に、平易な言葉でキリスト教について説明することを専門としておりキリスト教の入門書を複数執筆しています。

備考

<著書>

- 共著『聖霊の降臨 使徒の働き・初期教会の歩み』 (キリスト新聞社 2006年5月)
- 単著『こひつじたちのあいうえお』 (日本キリスト教団出版局 2012年4月)
- 編著『群馬のキリスト者たち』 (聖公会出版 2012年9月)
- 単著『新島八重ものがたり』 (日本キリスト教団出版局 2012年12月)
- 共著『教会では聞けない「21世紀」信仰問答Ⅰ まずは基礎編』 (キリスト新聞社 2013年6月)
- 単著『こひつじたちのABC』 (日本キリスト教団出版局 2015年1月)
- 共著『教会では聞けない「21世紀」信仰問答Ⅱ 悩める牧師編』 (キリスト新聞社 2015年6月)
- 共著『教会では聞けない「21世紀」信仰問答Ⅲ 迷えるココロ編』 (キリスト新聞社 2016年4月)

<論文>

- 「フッタライト兄弟団の研究」 (同志社大学大学院神学研究科博士課程 (前期課程) 歴史神学専攻 修士論文 1995年)
- 「須田清基—上毛かるたへの貢献—」 (新島学園短期大学紀要 30号 2010年3月)
- 「須田清基—新島襄への理解—」 (新島学園短期大学紀要 31号 2011年3月)
- 「新島八重の信仰」 (新島学園短期大学紀要 33号 2013年3月)
- 「新島八重の祈り」 (新島学園短期大学紀要 34号 2014年3月)
- 「新島八重と賛美歌」 (新島学園短期大学紀要 35号 2015年3月)

- 「湯浅治郎—群馬における初期廃娼運動への貢献」（新島学園短期大学紀要 36号 2016年3月）
- 「新島襄の福祉伝導—会津若松教会の設立を巡って—」（同志社大学同志社資料センター第一部門研究「新島研究」108号 2017年2月）

<雑誌・新聞等>

- 「Dressing Like Myself: My Experience as a Female Pastor」『in God's image』(Asian Women's Resource Centre for Culture and Theology 2009年12月)
- 「聖書を開こう ゆるしの主に出会った人々Ⅰ」『教師の友』（日本キリスト教団出版局 2010年1月）
- 「視点 オピニオン 21」『上毛新聞』（上毛新聞社 2009年12月～2010年11月）
- 連載「新島八重を追っかけて」『信徒の友』（日本キリスト教団出版局 2013年4月～2014年3月）
- 「八重と群馬」『同志社時報』（学校法人同志社 2013年4月）
- 図録「八重と群馬」『第80回企画展「新島襄生誕170年 襄と八重の上州—新島襄がこの地に播いた種—』』（群馬県土屋文明記念文学館 2013年4月）
- CDライナーノーツ「新島八重の賛美」『NHK大河ドラマ「八重の桜」—オリジナル・サウンドトラックⅢ』（COMMONS 2013年11月）
- 「八重の故郷と襄の父祖の地」『繋ぐ思い—新島八重と同志社』（同志社大学 2014年10月）

<出演等>

- NHK 2013年大河ドラマ『八重の桜』 キリスト教関連アドバイザー
- NHK-Eテレ『グレーテルのかまど』「新島八重の洋菓子」（2013年4月19日放送）
- テレビ朝日『お坊さんバラエティ ぶっちゃけ寺』「お坊さんとキリスト教が意気投合 SP」（2015年5月11日放送）
- テレビ朝日『お坊さんバラエティ ぶっちゃけ寺』「未公開&もう一度見たい傑作選 SP」（2015年5月30日放送）
- 『信徒の友』（日本キリスト教団出版局）編集委員 2014年～

キーワード キリスト教、新島襄、新島八重、八重の桜、須田清基、上毛かるた、湯浅治郎、柏木義円、群馬キリスト教史、再洗礼派、フッタライト兄弟団

氏名 大塚 敬義 (オオツカ タカヨシ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 専任講師

専門領域 ①医療情報学 (病院情報システム) / ②自然言語処理 (コンピュータによる文章解析)

専門の概要 ①病院における I C T (情報通信技術) の利用について。特に電子カルテシステムの運用にまつわる事柄など。②グーグルやヤフーといった検索エンジンの基礎技術について。特に医療分野における言語資源の利活用 (医療機関で用いる文書の解析) など。

備考 <論文>
単著
●大塚敬義:「短期大学の業務や授業におけるドローン活用の試み」, 新島学園短期大学紀要 (37), 2017年3月.
●大塚敬義:「ATOK2014 医学辞書における用語カバー率に関する調査」, 新島学園短期大学紀要 (36), 2016年3月.

<講演・口頭発表等>
●「短大ビジネス系学科における統計学教育のあり方について」(共著), 平成28年度 教育改革 ICT 戦略大会 (於 私立大学情報教育協会, 東京), 2016年.

<学会発表>
●「精神科単科病院における DPC データを活用した再入院の分析」(共著), 第40回 日本診療情報管理学会学術大会 (於 岩手県盛岡市), 2014年.

キーワード 病院情報システム, 医療における情報処理, 電子カルテ, 医療用語辞書

氏名 松田 慎一 (マツダ シンイチ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 専任講師

専門領域 開発金融論 経済理論

専門の概要 金融を研究対象の中心としています。特に「途上国における貧困」が研究テーマのひとつです。貧しい人々を対象とした金融サービスの提供を行う、マイクロファイナンスに関する研究を行っています。マイクロファイナンスは、無担保かつ無審査で、貧困層の人々に小口資金の貸し付けや、預金、保険などのサービスを提供しながら高い収益を誇り、ビジネスとしても成功を収め、市場も世界の国々で成長を続けています。

備考 <研究業績>
● (単著) 「社会的制裁とグループ貸付」新島学園短期大学紀要 第 34 号, 2014 年

● (共著) ” A Microstructural Effect of Japanese Official Intervention in the Yen/Dollar Foreign Exchange Market” Nova Science Publishers, Inc., 2013 年

● (共著) 「マイクロファイナンスにおける新たな潮流 -ASA によるグループ貸付の実例から-」日本政策金融公庫 第 10 号, 2011 年

キーワード 開発経済、開発金融、マイクロファイナンス、金融論、経済理論

氏名 Richard A. Maher (リチャード A. マハー)
 所属 キャリアデザイン学科
 職名 専任講師
 専門領域 アメリカ文学
 専門の概要 Literature has a place in the EFL (English as a Foreign Language) curriculum. Literature expands language awareness by exposing students to authentic vocabulary and grammar structures. Also, it is a window to other cultures, customs, and ways of thinking. Literature encourages critical thinking and discussion about characters, plot, and social commentary. In addition, reading about the ideas and experiences of others helps students think about their own experiences and develop their own original ideas. It can inspire the imagination of students because they can talk about their feelings and opinions. Finally, literature can motivate students to read in English and their native language, and foster love for the written word.

文学は EFL (外国語としての英語) のカリキュラムにおいて重要です。文学は、本格的な語彙や文法構造に学生が触れることによって、言語意識を広げます。また、それは他の文化、習慣、そして思考の方法を知る鍵となります。文学は小説の人物やストーリーや社会的な論評について、クリティカル・シンキングやディスカッションを促します。また、他人のアイデアや経験について読むことは、学生が自分の経験について考え、自分の独創的なアイデアを発展させることができます。自分の感情や意見について話すことができるので、文学は、学生の想像力を刺激します。最後に、文学は学生に英語や母国語で読む意欲を高め、そして本を好きになるきっかけとなります。

備考

<著書>

●“Falling Back into the World: Joanne Kyger’s Verse during her First Year in Japan”

「現世への回帰：ジョアン・カイガー滞日一年目の詩作」

2016年03月、新島学園短期大学紀要36号

●“Notwithstanding the Broken English and Imperfect Grammar”: A Short Analysis of Joseph Hardy Neesima’s Letters in English

「片言の英語と不完全な文法にもかかわらず」：新島襄の英語

で書かれた手紙の分析 2015年3月、新島学園短期大学紀要35号

●Ringing the Bell: The Man, the Mountain, and the City in Lew Welch’s *Hermit Poems* and “The Way Back”

鐘を鳴らす：ルー・ウェルチの「隠者の詩」と「ザ・ウェイ・バック」に

おける男、山と街 2014年3月、新島学園短期大学紀要34号

●Hunting and Gathering Culture: Daily Life, the Seasons, and the Expatriate Experience in Philip Whalen’s Japan Poems

文化を狩り、そして摘む：フィリップ・ウェイレンの日本の詩における日

常生活季節、および海外在住者の経験

2013年3月、新島学園短期大学紀要33号

- 「国人あら見た」シリーズ①：“高崎のいいところ”
2013年6月7日、ちいきしんぶん
- Memory Stretches and Love Streams: Interconnectivity, Nature, and Romance in Michael McClure’s “Dear Being”
追憶の拡張と愛の流れ：マイケル・マクルーアの「ディア・ビーイング」
に
おける相互接続性、自然と恋愛感情 2012年3月、
新島学園短期大学紀要32号
- Food for Thought: マハーさんが思うこと、感じること
2012年1月～12月（月一回）、上毛新聞 TAKATAI
- Gregory Corso’s “The American Way”: Then and Now
グレゴリー・コールソの「ザ・アメリカン・ウエー」:その当時と今
2011年3月、新島学園短期大学紀要31号
- Food for Thought: マハーさんが思うこと、感じること
2011年1月～12月（月一回）、上毛新聞 TAKATAI

<出演等>

- 新島学園短期大学2014年度キャリアデザイン学科公開講座
“10 Years Abroad: Evaluating Joseph Neesima’s English Skills”
「米国留学10年間：新島襄の英語能力評価」2014年8月30日
- 2012年度群馬県茶道会総会・講演会
「日本での15年：アメリカ人の視点」2012年6月11日
- 新島学園短期大学2012年度キャリアデザイン学科公開講座
“Evaluating President Obama’s 1st Term”「オバマ大統領の4年間のキャリア形成」2012年8月25日

キーワード アメリカ文学、英語イマージョン教育

氏名 渡邊 哲也 (ワタナベ テツヤ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 学科長・教授
専門領域 海外保育・キリスト教保育
専門の概要 海外、主に欧米における乳幼児の教育とケア (Early Childhood Education and Care) と日本の幼児教育・保育。
キリスト教主義の保育者養成という視点から心の教育。

備考

<学会発表>

- 「「保育・教職実践演習」を通して保育者の専門職性を探る」2017年5月、第70回保育学会 (口頭発表、個人)
- 「Christian Education and Child minder and Kindergarten Teacher Training based on Survey」2016年7月、OMEP (世界幼児教育・保育機構) 大会 梨花女子大学、ソウル、韓国 (ポスター発表、個人)
- 「キリスト教主義に基づく保育者養成課程の考察 一心の教育を通して保育の専門性を身に付ける」2015年9月、全国保育士養成協議会 第54回研究大会 (ポスター発表、個人)
- 「Christian Education and Caregiver and Kindergarten Teacher Training in one community, Japan」2015年7月、OMEP Washington D.C. (筆頭発表者、口頭発表、共同研究)
- 「キリスト教教育と保育者養成」2015年5月、第68回保育学会 (筆頭発表者、口頭発表、共同研究)
- 「地域教会との連携についての考察」2009年8月、日本キリスト教教育学会 第21回学会大会 (口頭発表、個人)
- 「学びの基本姿勢の再構築に向けての取り組み ー授業の実例紹介ー」2008年9月、全国保育士養成協議会 第47回研究大会 (口頭発表、個人)
- 「理論と実践を融合した協働的教育方法の可能性 ー幼稚園と連携したフィールドワーク実践演習の試みを通してー」2008年9月、全国保育士養成協議会 第47回研究大会 (口頭発表、共同研究)

<著書>

- 「学生の学びの基本姿勢の再構築への取り組みー指定保育士養成・幼稚園教諭課程認定大学として」、2009年3月、新島学園短期大学紀要第29号
- 「指導計画におけるドキュメンテーション」2006年3月、新島学園短期大学紀要第26号

キーワード 多文化、異文化、ECEC (Early Childhood Education and Care)、OECD、キリスト教保育、心の教育

氏名 福島 秀起 (フクシマ ヒデキ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 教授

専門領域 表現「和太鼓」

専門の概要 伝統楽器「和太鼓」

「打てば響く」太鼓の奥深さを探究し、現在では地域の子供から大人をはじめ、現場の教職員も太鼓を通じて関わりを深めております。現在、和太鼓の道場を開き地域活動や発表を含む指導や作曲を手掛けております。

備考

1990年～

- ・ 前職場（川越市）で「音出舞座」として太鼓グループを結成。各種イベントに出演
- ・ 依頼を受けた全国の保育園、幼稚園、各種団体の太鼓指導
- ・ 地方で保育園、幼稚園の教諭に向けて宿泊講習会を開催

2000年～

- ・ 高崎市保育専門学校にて「表現」の授業で和太鼓を取り入れ指導
- ・ 現在、職場でも「職員太鼓」を導入し、行事等で披露
- ・ 太鼓道場「風馬」を開設し、12年目を迎え現在に至る

キーワード 和太鼓

氏名 渡邊淳子 (ワタナベ ジュンコ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 教授

専門領域 平安文学、日本文化

専門の概要 平安期の物語、和歌、日記文学などを研究対象としています。歌物語が形成されてくる基盤は何か、物語や日記文学の「語り」性の考察等を研究課題として取り組んでおります。

備考 <著書>

- ・「伊勢物語の成立基盤考—『昔・・・』という語り出しを手掛かりにして—」(明治大学文学部紀要『文芸研究』第百二十六号所収)
2015年3月
- ・『伊勢物語』の章段語り出し考」(『新島学園短期大学紀要』第34号所収)
2014年3月
- ・「伊勢物語の成立説再考」(『新島学園短期大学紀要』第32号所収)
2012年3月
- ・『歌物語』の形成条件—『元良親王集』を手掛かりにして—」(『新島学園短期大学紀要』第30号所収) 2010年3月
- ・『更級日記』冒頭考」(『新島学園短期大学紀要』第28号所収)
2008年3月

キーワード 「語り」と文章表現としての「語り」、物語の「昔」、「をり」

氏名 櫻井剛 (サクライ タカシ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 准教授
専門領域 立体造形、美術教育
専門の概要 幼児の造形表現における自然の素材についての考察を専門としています。さらに具所的な立体造形の製作を専門としています。

備考 <学会発表>
・「子どもの木工 加工について」第 66 回日本保育学会大会(中村学園大学)、2013 年 5 月 11 日
・「子どもの木工 つなげる、組み合わせる」第 65 回日本保育学会大会(東京家政大学)、2012 年 5 月 4 日
<論文>
・「保育内容(表現)における劇的要素を含む授業について」清泉女学院短期大学、『清泉女学院短期大学研究紀要』第 34 号(2015)、2016 年 3 月、(共著)
・「演劇に関する研究の動向 ー日本保育学会年次大会(2001~2015)における研究発表を中心にー」有明教育芸術短期大学、『有明教育芸術短期大学紀要』第 7 巻、2016 年 3 月、(共著)
・「保育者養成校の造形表現の授業における自然について」『清泉女学院短期大学研究紀要』第 35 号(2016)、2017 年 3 月、(単著)
<作品>
・「葉の向こう」第 66 回 北信美術展(長野市 長野市生涯学習センター)、2015 年 10 月 4 日~10 月 12 日
・「子どもたちの世界」第 91 回白日会展(港区・国立新美術館)、2015 年 3 月 18 日~3 月 30 日
・「洞窟」第 67 回 北信美術展(長野市 長野市生涯学習センター)、2016 年 11 月 7 日~11 月 13 日

キーワード 表現、造形、図画工作、立体造形

氏名 澤田 まゆみ (サワダ マユミ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 准教授

専門領域 音楽 (ピアノ)

専門の概要 ピアノ演奏を専門とし、バッハから現代作曲家までのレパートリーをもちますが、とくにドビュッシーの音響技法や山田耕筰、安部幸明のピアノ曲に精通しています。また、音楽を乳幼児と分かち合う活動や、キリスト教と音楽の関係についても研究・取組みを続けています。

備考

<主要公演>

- 「ショパン没後 150 年記念リサイタル」 2003 年 10 月、フランス/パリ
- 「演連コンサート 澤田まゆみピアノリサイタル」 2008 年 6 月、東京
- 「IX International Conservatory Week Festival」にて邦人作品演奏 2009 年 11 月、ロシア/サンクトペテルブルク
- 「澤田まゆみピアノリサイタル my favorites シリーズ」 2012 年～、東京
- 「ドビュッシーと音楽散歩 ピアノ作品全曲演奏会」 2013 年～、高崎
- 「高崎音楽祭 2013」にて群馬交響楽団と共演 2013 年 9 月

<論文>

- ドビュッシー《6つの古代碑銘》(ピアノ二手版)の演奏について 2011 年 3 月、新島学園短期大学紀要 31 号
- 保育士・幼稚園教諭に求められるピアノ・スキルとは何か 2013 年 3 月、新島学園短期大学紀要 33 号
- 安部幸明作曲 やさしいこどものピアノ曲集《夢の世界》について 2014 年 3 月、新島学園短期大学紀要 34 号

<著書・CD>

- 「キリスト教とともに学ぶ音楽」 2010 年 4 月、聖公会出版
- 「曼珠沙華 山田耕筰 ヴァイオリンとピアノのための作品」 2011 年 2 月、ミッテンヴァルト
- 「夢の世界／子供の領分」 2014 年 5 月、ミッテンヴァルト

<その他>

- 上毛芸術文化賞受賞 2007 年 3 月
- オピニオン 21<視点>委員 (上毛新聞社) 2008～2009 年
- ショパン国際ピアノコンクール in アジア 審査員 2012 年～
- 日本演奏連盟会員、ぐんま日独協会理事、群馬音楽協会事務局次長
- 高崎経済大学附属高等学校芸術コース音楽系講師 2006 年～
- 上田ーウィーンアカデミー参加アーティスト 2010 年～

キーワード ドビュッシーの音響技法、山田耕筰、安部幸明のピアノ曲、キリスト教と音楽

氏名 成田 小百合 (ナリタ サユリ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 准教授、臨床心理士

専門領域 臨床心理学 (病院臨床、遊戯療法)

専門の概要 子どもと母親に関する心理臨床的問題が現在の研究テーマになっています。特に、遊戯療法、描画テストを専門として、臨床実践を研究と教育に結びつけて活動しています。

備考 <主な論文>
「子どもへの悩みからみた母親の成長」2008年 新島学園短期大学紀要第28号
「保育学生における母子画の標準タイプー保育者志望動機との関連」2010年 新島学園短期大学紀要第30号

「わが子へのケアから他者へのケアへー重症心身障害者の母親における他者との関係性に基ついた世代性の類型化」比較文化の地平をひらく p 358～P370 2014年 開文社

<地域活動>
2010年11月 渋川市役所：女性のためのアサーション講座：講師
2011年年9月 渋川市役所：コラージュの体験：講師

他

<所属学会>
日本心理臨床学会、日本発達心理学会、日本描画テスト描画療法学会 他

キーワード 子ども、母親、心理臨床、母子画、遊戯療法、トラウマ

氏名 八幡 眞由美 (ヤハタ マユミ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 准教授
学位 博士 (ヒューマン・ケア科学) 筑波大学
専門領域 子育て環境、子育て支援、児童文化・児童文学、保育
専門の概要 研究課題は「乳幼児連れが安心して外出できる環境に関する研究」です。子どもを持つ保護者が安心して外出できる環境を整えると同時に、誰もが快適に生活できる社会にすることを目的としています。

備考

<著書> いずれも共著

- ・保育原理 2017 (株)みらい
- ・マンガで学ぶ保育内容総論 2016 保育出版社
- ・保育内容 言葉 2016 大学図書出版
- ・保育原理 2016 大学図書出版
- ・家庭支援論 2014 保育出版社
- ・保育内容「言葉」 2012 (株)みらい
- ・プロとしての保育者論 2011 保育出版社
- ・子育て・子育て支援学 2011 保育出版社

<論文>

- ・ Difficulties Faced by Parents Going out with their Infants -the need felt by parents carrying buggies-, *The Asian Journal of Child Care*, 7. 2016
- ・ Barriers on the road for people traveling with toddlers who are vulnerable road users -Focused on the survey subjecting parents-, *The Asian Journal of Disable Sociology*, 15. 2016
- ・ 乳幼児連れが感じる駐車場利用時のバリア—保護者対象質問紙調査を中心に—, 新島学園短期大学紀要 36 号. 2016
- ・ 交通障害者である乳幼児連れの移動上のバリア～子どもの遊び場におけるベビーカー使用者のバリアを中心に～, 障害理解研究第 15 号. 2014
- ・ Barriers for Infants While Walking Felt by Nursery Teachers, *The Asian Journal of Child Care*, 5, 2014.03

<外部資金獲得状況>

乳幼児を持つ保護者の外出の理解に関する一般市民の認識
平成 28 年度健康づくり研究助成「あさを賞」(群馬健康づくり財団),
期間 2 年, 研究代表者: 八幡眞由美

<外部委員>

- ・『乳幼児教育学研究』編集協力委員 2016 年度 (日本乳幼児教育学会)
- ・ 神川町子ども子育て委員 2016 年度～

<社会活動>

- ・高崎市中央公民館 読み聞かせスキルアップ講座（全4回）講師 2015.11
- ・前橋市東公民館家庭教育学級（後期）もっと！すくすくおやこスクール
講師「絵本は心の栄養です」 2012.11
- ・前橋商工会議所主催 まちなかキャンパス講師（全3回） 2012.7

キーワード 保育、幼児教育、子育て環境、子育てバリアフリー、児童文化・児童文学

氏名 小菅 ゆみ (コスゲ ユミ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 専任講師

専門領域 児童福祉

専門の概要 児童福祉施設で直接処遇に携わる保育士の養成を専門としています。
児童相談所、児童自立支援施設ぐんま学園等現場での経験から、自立とは？
自立支援とは？ といったことを常日頃考えています。

キーワード 保育士、児童自立支援施設、自立、寄り添う

名前 清水 洋生 (シミズ ヒロオ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 専任講師
学位 教育学修士 (千葉大学)
専門領域 「子どもはなぜ遊ぶのか」というアポリアへの追及を、道徳性発達 (規範意識) という切り口で研究しています。その他、保育者養成科目 (健康領域) についての理論的基礎研究を行っています。

備考 <論文>

- 幼稚園教諭・保育士養成課程における「健康科学論」の講義に関する考察 新島学園短期大学研究紀要、第 37 号
- (文部科学省委託研究) 少子時代の道徳教育充実策に関する研究～教員養成学部と教育委員会の連携による教員研修の推進～(第一次報告)、千葉大学教育学部(共著)
- 幼児教育における遊びの機能 新島学園短期大学研究紀要、(投稿予定)
- 幼稚園教育要領における教育内容の変遷ー領域「健康」を中心にー 新島学園短期大学研究紀要、(投稿予定)

<その他>

- 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会、東京都新宿区、公益財団法人新宿未来創造財団事業共催:GTF キッズスポーツサミット」 講師(2013)
- 「東京都新宿区、公益財団法人新宿未来創造財団事業共催: GTF キッズスポーツサミット」 講師 (2014)
- 「東京都新宿区、公益財団法人新宿未来創造財団事業共催: GTF キッズスポーツサミット」 講師 (2016)
- FedEx CSR project in JAPAN - Kids DREAM PROJECT -
- その他、小学校での外来講師、企業の CSR 活動の講師など

<出演等>

なし

キーワード: 認知発達、遊び、道徳性発達 (規範意識)、保育者養成

お問い合わせ先 新島学園短期大学

TEL. 027-326-1155 tandai@ns.niitan.jp